



2023年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2022年11月10日

上場会社名 セレンディップ・ホールディングス株式会社 上場取引所 東
 コード番号 7318 URL https://www.serendip-c.com
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 竹内 在
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経理部長 (氏名) 小谷 和央 TEL 052 (222) 5306
 四半期報告書提出予定日 2022年11月10日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：有

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第2四半期の連結業績（2022年4月1日～2022年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第2四半期	6,727	1.2	38	3.5	2	△58.1	34	163.5
2022年3月期第2四半期	6,646	—	37	—	6	—	13	—

(注) 包括利益 2023年3月期第2四半期 △173百万円 (—%) 2022年3月期第2四半期 200百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第2四半期	7.94	7.68
2022年3月期第2四半期	3.51	3.23

(注) 1. 当社は、2021年3月期第2四半期においては、四半期連結財務諸表を作成していないため、2022年3月期第2四半期の対前年同四半期増減率の記載をしておりません。
 2. 2021年6月24日に東京証券取引所マザーズ（現グロース市場）に上場したため、2022年3月期第2四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益は、新規上場日から2022年3月期第2四半期連結会計期間の末日までの平均株価を期中平均株価とみなして算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第2四半期	14,843	4,337	28.6
2022年3月期	15,684	4,568	28.5

(参考) 自己資本 2023年3月期第2四半期 4,245百万円 2022年3月期 4,474百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2023年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2023年3月期（予想）	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2023年3月期の連結業績予想（2022年4月1日～2023年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	14,365	4.0	204	4.7	122	△32.0	163	△18.5	37.16

(注) 1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有
 2. 1株当たり当期純利益の予想数値の算出に使用した発行済株式総数は、現在予想される期中平均株式数であります。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年3月期2Q	4,550,320株	2022年3月期	4,550,320株
② 期末自己株式数	2023年3月期2Q	182,580株	2022年3月期	109,580株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年3月期2Q	4,403,861株	2022年3月期2Q	3,779,532株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における我が国経済は、新型コロナウイルス感染症拡大に対するワクチン接種の普及や行動制限の緩和により経済社会活動の正常化が進む中で、個人消費や企業の設備投資に緩やかな持ち直しの動きがみられるものの、資源・エネルギー価格の上昇及び急激な円安の進行による物価高騰、供給面での制約等の懸念により、先行きが不透明な経営環境が続いております。

当社グループの事業領域である中堅・中小企業の「事業承継（投資）」におきましては、中堅・中小企業の事業承継問題が深刻化する中で、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、経済・社会活動が停滞したことに後押しされ、事業承継手段としてのM&Aニーズ（譲渡ニーズ）が一段と増加いたしました。

一方、当社グループのもう一つの事業領域である「モノづくり（経営）」におきましては、新型コロナウイルス感染拡大等に伴う半導体を中心とした部品供給の停滞によるサプライチェーンへの影響等により、自動車メーカーの生産計画見直しによる影響を受けました。

このような状況のもと、当社グループは、新型コロナウイルス感染症拡大以前から経営執行にコミットしたプロ経営者をチームで派遣し現場・財務・経営の見える化を徹底し、バックオフィスの生産性向上や製造現場での幅広いITの活用に取り組み、ムダ・ムリ・ムラの排除を実施してまいりました。

この結果、当社グループの当第2四半期連結累計期間の連結業績は、売上高は、前年同四半期に比べ81,078千円増加し、6,727,196千円（前年同四半期比1.2%増）、営業利益38,479千円（前年同四半期比3.5%増）、経常利益2,636千円（前年同四半期比58.1%減）、特別利益に「保険解約返戻金」9,980千円、「受取保険金」138,760千円、特別損失に「役員特別功労金」30,000千円等を計上したため親会社株主に帰属する四半期純利益は、34,946千円（前年同四半期比163.5%増）となりました。

各セグメントの経営成績は次のとおりであります。

(プロフェッショナル・ソリューション事業)

当セグメントには、当社及びセレンディップ・テクノロジーズ株式会社が含まれております。

プロ経営者派遣におきましては、事業承継課題を抱える中堅・中小企業が今後益々増加していく社会的背景があり、中堅・中小モノづくり企業から事業承継案件、事業再生案件の当社への持ち込みが増加しております。

経営コンサルティングにおきましては、新型コロナウイルス感染症拡大により大手製造メーカーの生産活動停滞等を受け、その仕入先である中小製造業の業績が悪化しており、当該企業並びに支援金融機関からの経営改善支援に対するニーズが増加しております。また、DXに対する各社の取り組みの本格化、中堅・中小企業の基幹システムの再構築需要の増加に伴い、ITコンサルティングのニーズも増加しております。経営課題を抱える中堅・中小企業の課題解決・成長に更に寄与するための積極的な人材採用により人件費や採用費等が増大したことに加え、事業拡大のための本社移転に伴う費用が発生したことが当セグメントの減益要因となっております。

エンジニア派遣におきましては、新型コロナウイルス感染症拡大による経済活動の停滞による稼働率の低下等が改善され、回復基調にあります。中堅・中小企業の成長を支援するため、経営基盤の強化、経営効率の合理化を徹底し、新しいIoTソリューションの開発とDXに注力しております。

この結果、当セグメントの当第2四半期連結累計期間の経営成績は、売上高は前年同四半期に比べ10,995千円増加し、601,565千円（前年同四半期比1.9%増）、セグメント損失26,133千円（前年同四半期はセグメント損失20,732千円）となりました。

(インベストメント事業)

当セグメントには、セレンディップ・フィナンシャルサービス株式会社が含まれております。

前連結会計年度より、事業承継問題に機動的に対応すべく、上場後を見据えた案件の発掘・開拓に注力して参りました。上場後も、従来から構築してきた金融機関等との業務提携により、モノづくり企業を中心とした再生型事業承継支援サービス、フィナンシャル・アドバイザー等の企業経営サポートを積極的に進めております。営業力の強化に加え、より一層サービス力を強化し、複数の進行中の業務提携先からの紹介案件に対応するための先行費用としての人件費等が増加いたしました。

この結果、当セグメントの当第2四半期連結累計期間の経営成績は、売上高は前年同四半期に比べ3,933千円増加し、20,450千円（前年同四半期比23.8%増）、セグメント損失33,485千円（前年同四半期はセグメント損失32,980千円）となりました。

(モノづくり事業)

当セグメントには、三井屋工業株式会社、佐藤工業株式会社及び天竜精機株式会社のモノづくり企業が含まれております。

自動車内外装部品製造、自動車精密部品製造におきましては、半導体供給不足や供給網の混乱に伴う自動車メー

カーの生産計画見直しによる減産の影響を受け減収・減益となりました。

F A装置製造におきましては、供給面での制約は残るものの、新規顧客の獲得や主要顧客の設備投資活動の再開により受注は回復基調にあり、増収・増益となりました。

この結果、当セグメントの当第2四半期連結累計期間の経営成績は、売上高は前年同四半期に比べ55,496千円増加し、6,308,783千円（前年同四半期比0.9%増）、セグメント利益は前年同四半期に比べ7,225千円増加し、98,098千円（前年同四半期比8.0%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産、負債及び純資産の状況)

(資産の部)

当第2四半期連結会計期間末における流動資産の残高は、前連結会計年度末に比べ579,080千円減少し、6,402,519千円となりました。これは主に、連結子会社の設備投資に伴う支払いにより現金及び預金が477,975千円減少したことによるものであります。

当第2四半期連結会計期間末における固定資産の残高は、前連結会計年度末に比べ261,664千円減少し、8,441,316千円となりました。これは主に、投資有価証券の時価評価により317,844千円減少したことによるものであります。

この結果、総資産は14,843,835千円となり、前連結会計年度末と比べ840,744千円の減少となりました。

(負債の部)

当第2四半期連結会計期間末における流動負債の残高は、前連結会計年度末に比べ42,475千円減少し、4,704,475千円となりました。これは主に、返済期限が1年内に到来する長期借入金を振替えたことにより、1年内返済予定の長期借入金が195,910千円増加したこと及び前受金が43,492千円増加した一方で、支払手形及び買掛金が292,601千円減少したことによるものであります。

当第2四半期連結会計期間末における固定負債の残高は、前連結会計年度末に比べ566,507千円減少し、5,802,312千円となりました。これは主に、長期借入金が449,338千円減少したこと、投資有価証券の時価評価したことにより繰延税金負債が91,889千円減少したことによるものであります。

この結果、負債合計は10,506,788千円となり、前連結会計年度末に比べ608,982千円の減少となりました。

(純資産の部)

当第2四半期連結会計期間末における純資産の残高は、前連結会計年度末に比べ231,762千円減少し、4,337,047千円となりました。これは主に、投資有価証券の時価評価により、その他有価証券評価差額金が210,338千円減少したことによるものであります。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結会計期間末の現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、前連結会計年度末に比べ230,973千円減少し、2,992,251千円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果獲得した資金は、386,404千円となりました。（前年同四半期は902,392千円の獲得）

これは主に、減価償却費490,625千円、保険金の受取額138,760千円によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、272,674千円となりました。（前年同四半期は765,621千円の使用）

これは主に、「モノづくり事業」セグメントにおいて生産能力増強のため設備投資を行ったことによる有形固定資産の取得による支出542,509千円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は、344,753千円となりました。（前年同四半期は863,122千円の獲得）

これは主に、長期借入金の返済による支出253,428千円、自己株式の取得による支出53,220千円によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想については、客先の自動車生産台数が当初見込よりも大幅に下回る計画に修正したため、通期連結業績予想を修正しました。詳細については、本日（2022年11月10日）公表いたしました「通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,582,007	3,104,031
受取手形、売掛金及び契約資産	2,358,070	2,389,334
営業投資有価証券	40,000	40,000
商品及び製品	28,338	72,648
仕掛品	104,975	128,040
原材料及び貯蔵品	335,782	289,861
未収入金	379,331	328,605
その他	153,094	49,997
流動資産合計	6,981,599	6,402,519
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	3,777,023	3,875,540
機械装置及び運搬具	4,894,024	4,900,629
工具、器具及び備品	8,358,700	8,808,467
土地	2,148,447	2,148,447
リース資産	399,301	399,301
建設仮勘定	179,340	83,201
減価償却累計額	△13,904,165	△14,354,139
有形固定資産合計	5,852,672	5,861,447
無形固定資産		
のれん	58,303	51,218
無形資産	26,250	22,750
リース資産	7,293	5,610
ソフトウェア仮勘定	5,637	27,212
その他	71,426	69,599
無形固定資産合計	168,911	176,391
投資その他の資産		
投資有価証券	2,137,921	1,820,077
保険積立金	230,540	206,830
繰延税金資産	96,338	104,238
長期営業債権	274,824	325,167
その他	217,396	273,132
貸倒引当金	△275,624	△325,967
投資その他の資産合計	2,681,396	2,403,478
固定資産合計	8,702,980	8,441,316
資産合計	15,684,580	14,843,835

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,182,868	1,890,266
短期借入金	927,000	920,000
1年内返済予定の長期借入金	577,843	773,753
リース債務	49,937	47,519
未払金	211,865	220,674
未払費用	125,738	121,102
前受金	70,871	114,364
未払法人税等	47,207	81,048
未払消費税等	99,312	100,552
賞与引当金	196,146	219,808
製品保証引当金	6,650	7,358
受注損失引当金	5	7,202
設備関係支払手形	216,023	170,615
その他	35,482	30,209
流動負債合計	4,746,950	4,704,475
固定負債		
長期借入金	5,153,862	4,704,524
リース債務	150,415	126,677
資産除去債務	16,017	26,177
退職給付に係る負債	232,195	220,492
繰延税金負債	816,329	724,440
固定負債合計	6,368,820	5,802,312
負債合計	11,115,770	10,506,788
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,114,030	1,114,030
資本剰余金	1,999,730	1,999,730
利益剰余金	869,278	904,224
自己株式	△13,544	△66,764
株主資本合計	3,969,495	3,951,221
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	504,814	294,476
その他の包括利益累計額合計	504,814	294,476
非支配株主持分	94,500	91,350
純資産合計	4,568,809	4,337,047
負債純資産合計	15,684,580	14,843,835

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
売上高	6,646,117	6,727,196
売上原価	5,601,064	5,732,184
売上総利益	1,045,053	995,011
販売費及び一般管理費	1,007,892	956,531
営業利益	37,160	38,479
営業外収益		
受取利息	13	16
受取配当金	30,341	28,179
受取補償金	-	23,381
雇用調整助成金	10,040	11,932
為替差益	2,699	49,642
その他	17,351	20,244
営業外収益合計	60,446	133,395
営業外費用		
支払利息	51,435	46,542
貸倒引当金繰入額	2,717	50,343
営業外支払手数料	5,155	10,853
訴訟関連費用	15,363	59,035
株式公開費用	14,745	-
その他	1,905	2,464
営業外費用合計	91,322	169,239
経常利益	6,284	2,636
特別利益		
補助金収入	653,493	-
保険解約返戻金	-	9,980
受取保険金	-	138,760
特別利益合計	653,493	148,740
特別損失		
固定資産売却損	-	183
固定資産除却損	2,117	0
固定資産圧縮損	644,793	-
投資有価証券評価損	1,538	-
役員特別功労金	-	30,000
特別損失合計	648,449	30,183
税金等調整前四半期純利益	11,328	121,192
法人税、住民税及び事業税	32,636	76,628
法人税等調整額	△36,370	7,817
法人税等合計	△3,734	84,446
四半期純利益	15,062	36,746
非支配株主に帰属する四半期純利益	1,800	1,800
親会社株主に帰属する四半期純利益	13,262	34,946

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
四半期純利益	15,062	36,746
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	185,829	△210,338
その他の包括利益合計	185,829	△210,338
四半期包括利益	200,892	△173,591
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	199,092	△175,391
非支配株主に係る四半期包括利益	1,800	1,800

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	11,328	121,192
減価償却費	459,403	490,625
のれん償却額	7,085	7,085
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	2,717	50,343
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△29,582	23,662
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	20,602	△11,703
受注損失引当金の増減額 (△は減少)	△11,443	7,197
受取利息及び受取配当金	△30,355	△28,195
保険解約返戻金	-	△9,980
受取保険金	-	△138,760
支払利息	51,435	46,542
固定資産除却損	2,117	0
固定資産売却損益 (△は益)	-	183
固定資産圧縮損	644,793	-
補助金収入	△653,493	-
役員特別功労金	-	30,000
売上債権の増減額 (△は増加)	1,080,799	△31,264
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△19,847	△21,310
未収入金の増減額 (△は増加)	△330,830	40,796
仕入債務の増減額 (△は減少)	△444,106	△277,104
未払金の増減額 (△は減少)	△61,806	3,098
未払費用の増減額 (△は減少)	△35,432	△4,377
前受金の増減額 (△は減少)	△208,205	43,492
未払又は未収消費税等の増減額	84,951	47,070
預り金の増減額 (△は減少)	△17,535	△5,073
その他	△52,726	△119,610
小計	469,867	263,911
利息及び配当金の受取額	30,338	28,195
利息の支払額	△50,056	△46,517
補助金の受取額	643,493	10,000
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	△191,250	22,055
保険金の受取額	-	138,760
役員退職功労金の支払額	-	△30,000
営業活動によるキャッシュ・フロー	902,392	386,404
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△247,500	△7,000
定期預金の払戻による収入	72,000	254,001
有形固定資産の取得による支出	△570,456	△542,509
無形固定資産の取得による支出	△7,926	△16,909
保険積立金の積立による支出	△12,452	△11,698
保険積立金の解約による収入	-	45,388
その他	714	6,051
投資活動によるキャッシュ・フロー	△765,621	△272,674
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△557,300	△7,000
長期借入れによる収入	827,000	-
長期借入金の返済による支出	△388,406	△253,428
株式の発行による収入	1,014,707	-
自己株式の取得による支出	-	△53,220
リース債務の返済による支出	△27,928	△26,154
その他	△4,950	△4,950
財務活動によるキャッシュ・フロー	863,122	△344,753
現金及び現金同等物に係る換算差額	△2	49
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	999,890	△230,973
現金及び現金同等物の期首残高	2,847,479	3,223,225
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,847,370	2,992,251

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2022年5月12日開催の取締役会において、会社法第165条第3項の規定により読み替えて摘要される同法第156条第1項の規定に基づき、自己株式の取得を決議し、自己株式73,000株の取得を行いました。この結果、当第2四半期連結累計期間において自己株式が53,220千円増加し、当第2四半期連結会計期間末において66,764千円となっております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自2021年4月1日至2021年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額	四半期連結損益計算書計上額(注)
	プロフェッショナル・ソリューション事業	インベストメント事業	モノづくり事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	376,313	16,516	6,253,287	6,646,117	—	6,646,117
セグメント間の内部売上高又は振替高	214,257	—	—	214,257	△214,257	—
計	590,570	16,516	6,253,287	6,860,374	△214,257	6,646,117
セグメント利益又は損失(△)	△20,732	△32,980	90,873	37,160	—	37,160

(注) セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

II 当第2四半期連結累計期間(自2022年4月1日至2022年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額	四半期連結損益計算書計上額(注)
	プロフェッショナル・ソリューション事業	インベストメント事業	モノづくり事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	403,012	15,400	6,308,783	6,727,196	—	6,727,196
セグメント間の内部売上高又は振替高	198,553	5,050	—	203,603	△203,603	—
計	601,565	20,450	6,308,783	6,930,799	△203,603	6,727,196
セグメント利益又は損失(△)	△26,133	△33,485	98,098	38,479	—	38,479

(注) セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。